

# 令和4年度 第2回 香川県高等学校卓球部長会

令和4年10月14日(金) 14:00～

## 1. 部会長あいさつ

四国インターハイについて  
西日本オープンの中止について

## 2. 新人大会について

※学校対抗抽選 個人戦資料確認

- (1)大会日程等については要項通り。緊急の変更時は高体連のHPで確認してください。速やかな進行にご協力ください。1日目丸亀市民体育館(男子)は30台、高松市西部運動センター(女子)は18台、2・3日目高松市西部運動センターは21台設置予定。男女学校対抗は全て2台進行で行う。
- (2)前年度優勝校・優勝者はカップを持参してください。1日目丸亀(男子単・複 四学 香川西 学校対抗 尽誠)、1日目西部(女子単・複・学校対抗 尽誠。開始式は簡略化して行う。男子:生徒は整列。昨年度の優勝杯を返還。女子:生徒は整列し、優勝杯を返還。
- (3)開館は西部運動センター体育館8:00、丸亀市民体育館7:45です。準備は中讃地区(丸亀市民体育館)、女子参加校(高松西部運動センター)の学校で。朝の練習は時間帯で学校を指定する。準備の状況で時間は変更になる。(WEB参照)
- (4)学校対抗の上位2校は選抜大会四国地区予選会・四国卓球選手権大会への出場権を獲得する。また、男女シングルス優勝者は全国新人合宿への参加権を得る。  
(四国ブロックの枠は増えているが、各県の代表は2校のまま)
- (5)今年度は参加料無料。加盟校以外は参加料(団体500円、個人100円)が必要。
- (6)学校対抗の部でベンチ入りする監督は、必ず役職者章を付ける。
- (7)学校対抗は審判要員1名を認めるが、ベンチでの応援はできない。審判要員は、大会要項の参加資格に準ずる。
- (8)学校対抗は原則相互審判、個人戦は原則敗者審判。いずれも結果は勝者が報告。すべてのコートにストップウォッチを置き、ゲーム間の1分を計測。  
→各校で指導をお願いしたい。
- (9)参加生徒の監督・指導について。(会場の使用、試合のマナー等)
- (10)選手宣誓 男子:尽誠、女子:尽誠(総体優勝チームから)
- (11)1日目進行補助 丸亀: 試合開始～11:00 善一  
西部: 試合開始～11:00 香川西  
2日目進行補助 西部: 試合開始～11:00 琴平  
11:00～13:00 高専高  
13:00～15:00 高専託  
3日目進行補助 西部: 試合開始～11:00 丸城西  
11:00～13:00 観一
- (12)安全ガイドラインの確認

## 3. 全国高体連よりの連絡・報告事項

- (1)令和4年度 第50回全国高等学校選抜卓球大会(記念大会) 愛知大会について
  - ①期 日 令和5年3月24日(金)～27日(月)
  - ②会 場 スカイホール豊田
  - ③参加制限 学校対抗男女各64校(四国ブロックより男4校(8校参加)、女5校(8校参加)+明德義塾)  
個人戦シングルス2部は各都道府県男女各1名
  - ④組 合 せ 学校対抗の部はリモート公開抽選を行う。  
個人戦は全国高体連卓球専門部による抽選
  - ⑤参 加 料 学校対抗1チーム45,000円 個人戦1名4,500円  
※個人戦参加制限  
(ア)各都道府県予選会の学校対抗の部で1・2位になった学校及びこの大会への出場権を有する学校からは出場できない。

(イ) 過去に全国高校総体・全国高校選抜・全日本選手権（一般・ジュニア）・国体（エントリーされた者）及び個人戦（ダブルスを含む）に出場した者を除く。

⑥ 宿泊は別紙宿泊要項による。

⑦ 使用球 ニッタク・VICTAS・タマスの3メーカーとする。

⑧ 予選は4チーム×16リーグをしてから、トーナメント

⑨ 練習会場は3会場

(2) 令和5年度 第92回全国高等学校総合体育大会 北海道大会について

① 期 日 令和5年8月 8日（火）～8月13日（日）

② 会 場 北海道札幌市 北ガスアリーナ札幌46

③ 出場枠 男女各 団体1 ダブルス2 シングルス4

④ 抽選会 学校対抗の部はリモートによる抽選会（7月8日）

⑤ 参加料 学校対抗 45,000円 個人戦 4,500円

⑥ 使用球 ニッタク・VICTAS・タマスの3メーカーとする

⑦ シャトルバス等はなく、競技会場の駐車場は利用できない。

→公共交通機関で

(3) 令和5年度 第51回全国高等学校選抜卓球大会 山形大会について

① 期 日 令和6年3月21日（木）～24日（日）の予定

② 会 場 山形県天童市 山形県総合運動公園総合体育館

③ 参加校 学校対抗男女各56校（四国ブロックより男4校、女3校）  
個人戦シングルス2部は各都道府県男女各1名

④ 参加料 学校対抗 45,000円 個人戦 4,500円

(4) 令和4年度全国高校選抜新人合宿

令和4年12月2日（金）～12月4日（日）

於：YMITアリーナ（滋賀県草津市） 各県男女1名（参加制限有り）

(5) 令和4年度全国指導者講習会について

令和5年1月5日（木）～6日（金） 於：福井市 福井県営体育館

申込〆切 令和4年12月2日（金）

交通費は高体連が負担。希望者は岡田まで

(6) 全国高等学校卓球専門部90周年・全国高等学校選抜卓球大会50回記念式典並びに  
祝賀会・愛知選抜大会歓迎レセプション

令和5年3月24日（金）17:00～（選抜大会の開会式が14:00～）

於：ホテルトヨタキャッスル

第1部 記念式典

第2部 記念講演 ～高校卓球で培ったもの～ 松下 浩二

第3部 記念祝賀会・レセプション スピーチ 宮崎 義仁

会 費：9,000円

参加者：各都道府県専門委員長、愛知選抜大会出場監督、引率者

(7) 全国高体連卓球専門部役員

監 事 片岡雅浩

副理事長 塩見卓生

(8) 全国高校総体中央委員会から

・部員不足による合同チームのインターハイの参加について、令和5年度からの導入を目指している。（県総体も考えていく必要がある）

- ・個人戦の参加人数について、ラケット4競技で協議しているが、経費削減の方向で検討している。
- ・体罰根絶について。昨年度は17件で年間最小であるがゼロになるようお願いしたい。
- ・中学校の部活は、令和5年クラブチームに移行。高等学校も今年度から検討していく。

来年の全中はクラブチームの参加を認める

これから4・5年の間に大きな変革が高校にも訪れるのではないかと

#### 4. 令和4年度 第50回全国高校選抜卓球大会（個人戦の部）香川県予選会について

- (1)期日 令和4年12月27日（火）
- (2)会場 丸亀市民体育館（要項は11月上旬にアップ予定）

#### 5. 令和4年度 第50回全国高校選抜卓球大会四国地区予選会について

- (1)期日 令和5年2月4日（土）・5日（日）
- (2)会場 坂出市立体育館（香川県主管）
- (3)参加校 各県の上位2校（男・女）

#### 6. 日本卓球協会・香川県卓球協会関係

- (1)四国選手権代表校、大阪・東京選手権代表選手へ派遣依頼文は出さない。  
全日本選手権、東京選手権、大阪選手権の県予選会の使用球は本戦と同じもの。要項やHPを参考にしてください。
- (2)ルールの改定について（11月に発行されるので従来のもは買わないほうがよい）

#### 7. 検討・確認事項

- (1)アドバイザー・タイムアウト制について（別紙）
  - ・「別の試合のアドバイザーに入っていて途中でアドバイザーに入る」は県内規模の大会では徹底は不可能。よって「途中でアドバイザーに入る」のみにする。
  - ・ただし、観客席で他の人と話し合ってから、アドバイザーに入ることは、1人がアドバイスをしていることにならないので、控えてほしい。
- (2)各校のジャージについて、白を避けるようにしてください。

#### 8. 新人大会の団体・個人戦組み合わせ 組合せはHPにアップします。

- (1)団体戦のシード確認及び抽選（別紙）
- (2)個人戦のポイント確認（別紙）

#### 9. その他

- (1)高体連強化費－新人大会 学校対抗 優勝校
- (2)大会申込み期限の厳守、個人戦のエントリーは推薦順
- (3)ルールの確認（特にサービス）
- (4)ゼッケンピンの飾りについて。飾りは付けない。
- (5)足拭き雑巾の使用について各自の責任で 6ポイント毎（雑巾の忘れ物も多い）
- (6)フロア内へのビデオカメラの持ち込みについて 原則禁止  
上位に行けば、競技領域外を作るので撮影可能

	途中で 退席する	途中で アドバイザーに入る	別の選手の アドバイザーに入る	途中で退席し 再度入る	別のアドバイザーが 一人の選手に入る
高体連 県総体 新人戦 選抜個人 強化大会					
県協会 国体予選 全日本Jr	○	○	○	○	×

## 高等学校の試合のアドバイザーについて（今までの要項から抜粋）

県卓球協会の大会（国体予選・全日本ジュニア）

- ・アドバイザーは館内に入っているものであれば、誰でもよい。（塩見先生より）  
（感染症対策のため、館内に入ることができない場合はできないが、アドバイザーとしては入場できる。）
- ・ベスト16決定戦からベンチに入ることができる。
- ・タイムアウトは、準々決勝から。（国体予選は2次予選（リーグ）から）
- ・アドバイザーは、一度離れても再度入ることができる（うろうろしてよい）（塩見先生より）

高体連の大会（県総体・新人戦・強化大会・選抜個人）

- ・個人戦のアドバイザーは、各要項に記載する。

基本は

- ・ダブルスは、準決勝からベンチに入ることができる。（タイムアウトも）
- ・シングルスは、準々決勝からベンチに入ることができる。（タイムアウトも）
- ・学校対抗は、決勝リーグからタイムアウト可能。

春季強化大会

- ・アドバイザーは、参加申込書の監督（アドバイザー）欄に、記入すること  
校長が認めた、外部指導者でもよい。（アドバイザー登録必要？）
- ・シングルスは、ベスト16決定戦からベンチに入ることができる。
- ・ダブルスは、ベスト8決定戦からベンチに入ることができる。
- ・タイムアウトは、規定していないのでダブルス準決勝・シングルス準々決勝から

県総体

- ・アドバイザーは、エントリーされた当該学校の選手・監督に限る。
- ・アドバイザー（1名）は試合開始時に選手とともに競技場に入場する。他のコートでアドバイザーしていた場合は試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。（←これは、全大会に有効？）【インターハイの要項の書き方】
- ・シングルスは、ベスト16決定戦からベンチに入ることができる。
- ・ダブルスは、ベスト8決定戦からベンチに入ることができる。
- ・タイムアウトは、学校対抗決勝・ダブルス準決勝・シングルス準々決勝から

夏季強化大会

- ・監督は、その学校の専任教職員及び学校長の認めた指導者であること。監督は役職者章をつけること。
- ・タイムアウトは、準々決勝から

新人大会

- ・個人戦のアドバイザー（ベンチコーチ）はダブルスの準決勝から、シングルの準々決勝から認める。（昨年度）
- ・今年度からは「アドバイザーは、参加申込書の監督（アドバイザー）欄に、記入すること」
- ・監督は当該校の専任教員及び学校長が認めた指導者であること。

選抜個人

- ・アドバイザー（ベンチコーチ）は準々決勝から認める。
- ※大人の方で監督（アドバイザー）になる場合は、参加申込書の監督（アドバイザー）欄に記入してください。  
（出場している選手は、アドバイザーなることは可能です。）

## 高等学校の試合のアドバイザーについて（案）

- 高体連主管の学校対抗（春季強化・県総体・夏季強化・新人・（あれば冬季強化））
  - ・監督は、その学校の専任教職員及び学校長の認めた指導者であること。監督は役職者章をつけること。
  - ・タイムアウトが可能な試合  
強化大会は決勝トーナメントから ~~→~~ **決勝のみ**  
**（強化大会なので、監督のタイムアウトの練習面からも存続する）**  
**（決勝トーナメントには5～8位決定トーナメントも入る）**  
県総体は決勝のみ（インターハイ決定戦）  
新人大会は決勝リーグから

- 高体連主管の個人戦（春季強化・県総体・新人・選抜個人）
  - ・大人の方で監督（アドバイザー）になる場合は、参加申込書の監督（アドバイザー）欄に記入する。

監督 (アドバイザー)	
----------------	--

- ※監督（アドバイザー）欄には複数名記入可能だが、当日アドバイザーに入れるのは各チーム男女1名のみ。校長が認めた、外部指導者でもよい。日本卓球協会のアドバイザー登録をしておくこと。
- ※学校対抗の監督は「その学校の専任教職員及び学校長が認めた指導者」

男子学校対抗の部			
	姓 名	学年	生年月日
監督			
◎選手1		#	. . .
選手2		#	. . .

- ・エントリーしている選手は、アドバイザーなることは可能。
- ・アドバイザーが入ることができる試合  
春季強化大会・県総体はシングルスベスト16決定戦、ダブルス8決定戦から。（四国大会決定戦）  
新人戦・選抜個人はシングルス準々決勝、ダブルス準決勝から。
- ・タイムアウトが可能な試合  
すべての試合で、シングルス準々決勝、ダブルス準決勝から。（インターハイ決定戦）

- 県卓球協会の個人戦（国体予選・全日本ジュニア）
  - ・アドバイザーは館内に入っているものであれば、誰でもよい。（参加申込書に記載するところはない）
  - ・アドバイザーが可能な試合 ベスト16決定戦から
  - ・タイムアウトが可能な試合 準々決勝から（国体予選は2次予選（リーグ）から）

- アドバイザーの移動について

アドバイザー（1名）は試合開始時に選手とともに競技場に入場する。他のコートでアドバイスしていた場合は 試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。【インターハイの要項】

- ・基本的な考え方
  - ・一人の選手に一試合につけるアドバイザーは一人のみ（次の試合では別のアドバイザーがついてよい）。
  - ・一人のアドバイザーは何人の選手に入ることができる。
  - ・試合途中で離れてもよいが、以降はそのコートに復帰できない。（県卓球協会の大会は可能）
  - ・アドバイザーが入っていなかったコートに、試合途中から入ることはできる。  
**（↑県の大会の場合の文面はこのままであるが、インターハイでは入ってよいのは他の試合のアドバイスに入っていた場合だけ）**